

# ブラジルの大統領選挙の行方は不透明 ～10月28日の決選投票にもつれ込む見通し～

ブラジルでは、10月の大統領選挙に向けた選挙戦が8月16日に正式に始まりました。13人の候補者中、有力視されているのは主に5人ですが、世論調査でトップの座を占めてきたルラ元大統領は、汚職事件の第2審で有罪判決を受けて収監中で、今後、立候補の受付が却下されるとみられています。そして、他の候補者の支持率に大きな差がない上、態度未定の有権者が多いことなどから、先行きは不透明です。

大統領を2010年までの2期8年、務めたルラ氏は、給付金拡大などにより貧困を削減、資源価格の上昇という追い風もあり、経済を高成長に導いたほか、サッカー・ワールドカップやオリンピックの招致にも成功し、ブラジルの一時代を築いたことなどから、低所得層を中心に今でもカリスマ的人気を誇っています。しかし、同氏には法律上、当選資格がないとして、立候補は無効との判断を選挙裁判所が早ければ月内にも下すとみられ、その場合、同氏と同じ党で、現在、副大統領候補のハダジ氏が大統領候補に鞍替えすると考えられています。

ブラジルでは、汚職の蔓延などから、既存の政党・政治家に対する不信が国民の間で広がっており、ルラ氏を除くと、世論調査で支持が比較的高いのは、元軍人のボルソナロ氏、次いで、環境保護派でクリーンなイメージのシルバ氏と、ともに少数政党の候補です。一方、改革に前向きで、金融市場で評価されているアルキミン氏は大政党所属で、経済界や中道政党の多くから支持を得ているものの、世論調査では振るいません。

各候補の年金改革への姿勢はマチマチで、選挙結果によって、テメル現政権が推し進めた、財政再建を中心とする構造改革路線が着実に前進するのか、それとも、後退するののかの分かれ道になる可能性が高く、金融市場への影響も大きくなるとみられます。今後の候補者討論会でのやり取りや世論調査の動向、さらに、実施は必至とみられる決選投票に向けての政党間の協力関係や連立の動きなどに要注目です。

## 大統領選挙の 主要スケジュール

日にち	内容
8月16日	選挙広告・選挙運動開始
8月31日	テレビ、ラジオでの政見放送開始(10月4日まで)
9月17日	高等選挙裁判所による、全候補者の資格審査の期限、政党による候補者変更の期限
10月7日	第1回投票(過半数の得票者がいない場合、上位2名による決選投票を実施)
10月28日	決選投票

## ブラジル大統領選挙の主な候補者

	ルラ 元大統領*	ボルソナロ 下院議員	シルバ 元環境相	ゴメス 元財務相	アルキミン 前サンパウロ州知事
政治方針	左派	極右	中道左派	中道左派	中道右派
所属政党	PT:労働者党 (最大野党)	PSL:社会自由党 (少数政党)	REDE:持続可能 ネットワーク(少数政党)	PDT:民主労働党 (少数政党)	PSDB:社会民主党 (与党連合の一角)
年金改革への姿勢	否定	消極的	消極的	消極的	推進
特徴など	テメル現政権の財政 支出削減や改革を 白紙に	元軍人、腐敗糾弾と 治安を重視するが、 暴言や差別発言も 目立つ	環境保護重視、クリーン なイメージで、前回の 大統領選で3位となる など、知名度高い	ルラ政権で国家統合 相として閣僚入り、 格差是正などを重視	テメル現政権の改革 路線を継続、経済界 や中道8政党が支持

\*ルラ氏の立候補が無効となる場合、副大統領候補となっているハダジ氏が大統領候補に鞍替えするとの見方が有力

いずれも、報道などをもとに日興アセットマネジメントが作成

日興アセットマネジメント

■当資料は、日興アセットマネジメントが市況等についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。